



園 だ よ り

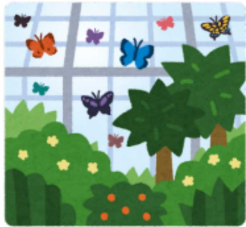
令和8年 9月号 認定こども園 長者幼稚園

Tel 45-1941 fax 45-1943

ホームページ<http://choja-youchien.com/>



2026/8/31日発行



小さな昆虫博士から学ぶ、 「なぜ？」を大切にする心

園長 田村 元

長い夏休みが明け、いよいよ元気あふれる2学期がスタートしました！日焼けした元気な子どもたちの笑顔と歓声が園内に戻り、職員一同、とても嬉しく、どこか身の引き締まる思いでいっぱいです。

さて、この夏休み、ご家庭ではどんな発見や思い出がありましたでしょうか。今回は、子どもたちの「不思議に思う心」がいかに素晴らしい可能性を秘めているかを感じさせてくれる、ある素敵なニュースをご紹介します。

兵庫県神戸市に住む長井丈（じょう）くんという男の子が、「アゲハ蝶の記憶の遺伝」に関する研究を行い、世界的な科学の発表会である国際昆虫学会議で、見事優秀賞を受賞しました。

彼がこの研究を始めたきっかけは、お母さんが買ってきた1本のレモンの木に、アゲハ蝶が卵を産みに来たという、ごくありふれた日常の一コマだったそうです。小学3年生の時、自分で卵から大切に育てた蝶を空へ放したときのこと。そのアゲハ蝶は、丈くんの周りを何度も愛おしそうにぐるぐると回ってから飛び立っていったそうです。

その姿を見た丈くんは、「もしかして、蝶は僕のことを覚えているのかな」という、とても純粋な疑問を抱きました。ここから、彼の壮大な探究が始まります。自宅のベランダや部屋の中で、何世代にもわたってアゲハ蝶を飼育し、地道な実験を繰り返しました。そして、アゲハ蝶が幼虫の時に体験した記憶がサナギの時期を経ても成虫へと引き継がれること、さらにはその記憶が次の世代の子や孫へも受け継がれていく可能性を突き止めたのです。



この世界を驚かせた大発見の始まりは、大人がつい見過ごしてしまうような「どうしてだろう」という、子どもの小さな気づきと感動でした。特別な設備があったわけではなく、身近な生き物をじっくりと観察し、「知りたい」という情熱を注ぎ続けたことが、世界的な評価へとつながりました。

園での毎日の生活の中にも、これと同じ輝きを持った子どもたちの「なぜ？」「どうして？」がたくさん転がっています。

「だんごむしはなにをたべているの？」

「どうしてかえるは逃げ出すのかな？」

「雨の日は、お空の上でだれが泣いているの？」

大人にとっては当たり前のことでも、子どもたちにとっては、毎日が新鮮な驚きと冒険に満ちています。私は、この「なぜ」という疑問に対して、すぐに正しい答えを教える必要はないと考えています。それよりも、「本当だね、どうしてだろうね」「一緒に調べてみようか」と、子どもたちの発見に共感し、一緒に面白がることこそが、これからの時代に最も必要とされる「探究する心」や「学びに向かう力」の根っこを育てていくと信じています。

